

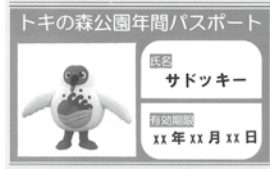


■ご寄付ありがとうございました

中山二重様（札幌市）から、トキ環境整備基金へご寄付をいただきました。ご芳志は、トキ野生復帰事業のために活用させていただきます。ありがとうございます。

■トキの森公園年間パスポートをご利用ください

トキの森公園では、より多くの皆さまからご来園いただき、トキの野生復帰やトキとの共生について理解を深めていただくため、年間パスポートを発行しています。



※期間中は何度でもご入場いただけます。
※定休日、臨時休館日は入場できません。
※小人（小中学生）の年間パスポートはあり
ません。
料金 大人1200円

申込方法

トキの森公園資料展示館受付またはトキ交流会館備え付けの申込書に必要事項をご記入の上、料金と顔写真（縦4cm×横3cm）、身分証明書を添えてお申し込みください。郵送、Eメール（写真データを添えて）での申し込みも可能です。詳細は、窓口備え付けのご案内またはトキのたより

ホームページをご覧ください。
お問い合わせ
トキの森公園資料展示館

☎22-4123

トキ交流会館

☎24-6040

■放鳥トキの様子

環境省は、12月中旬までに、野生下のトキのうち3羽に、繁殖期に近づくと現れる羽色の変化を確認したことを発表しました。



トキは繁殖期が近づくと、首のあたりの黒い皮膚が厚くなり、粉状になってはがれ落ちます。これを水浴びのあとにこすりつけることにより、頭から背中にかけて羽根の色が黒く変化します。これを生殖羽といい、トキが繁殖可能な状態であることを示すとともに、巣で卵を抱く時の保護色の役割を果たすとも考えられています。

第13回放鳥トキ1羽（4歳メス）が、新潟市内の水田で採餌し、飛翔する様子などが確認されました。また、10月に石川県輪島市内で確認されていた第1回放鳥トキ（11歳メス）は、11月21日以降七尾市内で観察されています。

◆市役所農林水産課生物多様性推進室トキ政策係（トキ交流会館内）
☎24-6040

粘土鉱物は意外と身近なもの

火山によってつくられた岩石を火成岩といい、そのような岩石は「鉱物」というさまざまな化学組成を持つ小さな粒が集まってできています。そのため、火成岩の判別には偏光顕微鏡という岩石専用の顕微鏡が必要になります。

緑色凝灰岩を偏光顕微鏡で観察すると、「緑泥石」という鉱物が見られます。緑泥石とは、もともと黒や茶色の鉱物の組成が変化し、緑色になったものです。粘土鉱物というグループに属し、佐渡では相川の海岸や、真野地区背合の人面岩などでよく観察することができます。

粘土鉱物とは聞きなれない言葉かもしれませんが、生活の中で目にするものにたくさん使われています。

例えば、粘土として陶器の原料に使われたり、吸水性などに優れる粘土鉱物は、ネコのトイレ砂などに使われたりもします。女性には必須のファンデーション、口紅などの化粧品類にも多く使用されています。固形ファンデーションには板状の構造を持つ粘土鉱物が混ざっており、適度な伸びや密着感をもたらしてくれます。



人面岩

粘土鉱物と聞くと、一体どんなものなんだろう？と思いがちですが、実はとても身近なものです。成分表示に、スメクタイト、ベントナイト、カオリナイト…などと書かれていたら、これらはすべて粘土鉱物です。私たちは、地球の産物を使って日々の生活を送っているのです。

◆教育委員会社会教育課
ジオパーク推進室（両津支所内）
☎27-4185